

2003年2月12日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

NVC、不正侵入検知・防御システム『NetScreen-IDP』を販売開始

記

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ（本社：横須賀市小川町14-1、代表取締役：渡部進、以下略称：NVC）はこの度 NetScreen Technologies 社の新製品である『NetScreen-IDP100/500』の販売開始を発表した。

『NetScreen-IDP』製品は、アプライアンス型不正侵入検知・防御システムであり、従来の不正侵入検知（IDS）システムと比べて防御機能が備わっていることが最大の特徴である。NVC は、今後増え続ける企業ネットワークへの攻撃に対し、新しいセキュリティソリューションのひとつとして、この『NetScreen-IDP』製品をユーザに提供していく。

NetScreen-IDP 製品は、インタフェースがファーストイーサーネットの『NetScreen-IDP100』と、ファイバーギガビットの『NetScreen-IDP500』の2種類の製品ラインナップとなっている。価格は2,980,000円から。

ネットワークに対する攻撃を検知する方法として、多数の検知方法を組み合わせた独自機能であるマルチメソッド方式を採用している。この方式により、正確な検知ができることと、従来のIDS（不正侵入検知）製品で問題視されている誤検知を減少させることができる。また、インラインモードの採用により、攻撃に対してドロップするという防御策をとることが可能である。これも従来のIDS（不正侵入検知）製品にはなかった革新的な機能である。

また、集中管理が可能でありシグネチャの更新やポリシー設定などを一括して実行できるため、管理に関わる負荷をも軽減できる。

NVC は NetScreen-IDP 製品に関して、今年度年間5億の売り上げを見込んでいる。

【ネットスクリーンについて】

米ネットスクリーン社は、1997年に米カリフォルニア州に設立されたネットワーク機器ベンダーである。米VPNアプライアンス市場では、100トンネル以下のカテゴリで2年連続15%のシェア（第1位）、またFirewallの市場では、10M~Gigabitのマーケットで2位（数字はともに2001年第4四半期）となっている。

※数字の出所はInfonetics Research

以上